



ポリクリック
シリーズ

スーパーメタルコアドリル 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- △警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容
- △注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

警 告

- ①作業場は、いつもきれいに保ってください。また、作業場の周囲の状況も考慮してください。雨中や暗所、可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。
- ②無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帶着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- ③作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。
- ④目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、粉じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフ等防音保護具を着用してください。
- ⑤指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
- ⑥作業中は振り回されないように、電動工具を両手で確実に保持してください。
- ⑦高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- ⑧カッター及びセンタードリル、ガイドバーの着脱時は、ばねにより押し出される構造になっています。落下・破損に注意してください。高所作業では特に注意してください。
- ⑨穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっています。火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。
ただし、カッターハンドル中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
- ⑩カッター及びセンタードリル、ガイドバーの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルだけがや火傷をしないように注意してください。
- ⑪カッター着脱時ストップは、ばね力で強く押し出されますのでシャンクとストップの隙間に手や指を挟まれないように注意してください。
- ⑫製品の着脱時は電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ⑬ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

注 意

- ①使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ②電動工具は回転モード以外で使用しないでください。ハンマー（打撃）・振動モードでの使用はカッター及びセンタードリルの破損原因となります。
- ③カッターの刃先は鋭利な形状になっていますので、落としたり衝撃を与えると破損する恐れがありますので、取り扱いには注意してください。
- ④穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。（刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります）回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。途中で回転を止めた場合は、回転を止めたままゆっくりカッターを引き抜いて下さい。
- ⑤1穴毎にカッター内の切削片、切粉を取り除いてから作業をしてください。
- ⑥切削片がカッターから出にくい場合はカッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。



ユーザーと共に歩む

株式会社ミヤナガ

受注センター

受付窓口 ☎ 0120-81-3875
〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地
商品お問い合わせ窓口 ☎ 0120-3875-14
URL http://www.miyanaga.co.jp F A X ☎ 0120-3875-17
4955734-1

本製品について

● 用途（被削材）

- 適合材：金属サンドイッチパネル材（例：日鉄鋼板株式会社 ノイラックスⅡ®）
- 穿孔可能材：ガルバリウム鋼板® を使用した金属系サイディング、鉄板、ステンレス鋼板、デッキプレート鋼板

※デッキプレートへの断続切削の場合は、カッターの耐久性が低下することがあります。
穿孔後、デッキプレート以外の被削材に使用すると穴あけ性能が低下することがあります。

ノイラックスⅡ、ガルバリウム鋼板は日鉄鋼板株式会社の登録商標です。

● 仕様

刃先径：25～220mm ※販売サイズはご確認ください。

有効長：130mm

カッター長：160mm

シャンク：ポリクリックS、L、X

● センタードリル、ガイドバー

品名	品番	適合刃先径 (mm)	径×全長 (mm)	用途
センタードリル（ハイス）	PCSMCD225	全サイズ	9.3X225	
ポリクリックガイドバー250	PCGWGB		9.3X250	板厚60mm以下
ポリクリックガイドバー320	PCSMGB320		9.3X320	板厚61～130mm

※センタードリル（ハイス）には、ポリクリックガイドバー250が付属しています。

● シャンク

ポリクリックシャンクS・L・Xには下表の種類があります。

用途・使用する電動工具に合わせてご使用ください。

品名	品番	適合刃先径 (mm)	仕様
Sシャンク	PCS KS	49以下	10mmストレートシャンク
Sシャンク SDSプラス	PCS KSR		SDSプラスシャンク（軽量ハンマードリル用）
Sシャンク 200L	PCS KS200		10mmストレートロングシャンク
Sシャンク SDSプラス 200L	PCS KSR200		SDSプラスロングシャンク
Lシャンク	PCS KL	50～225	13mmストレートシャンク
Lシャンク SDSプラス	PCS KLR		SDSプラスシャンク（軽量ハンマードリル用）
Lシャンク (10mm)	PCS KLT	50～80	10mmストレートシャンク
Lシャンク 200L (13mm)	PCS KL200		13mmストレートロングシャンク
Lシャンク SDSプラス 200L	PCS KLR200	50～225	SDSプラスロングシャンク
Lシャンク 200L (10mm)	PCS KLT200		10mmストレートロングシャンク
Xシャンク SDSプラス	PCS KXR	50以上	SDSプラスシャンク（軽量ハンマードリル用）
Xシャンク SDS-max 回転モード	PCS KXM X		SDS-maxシャンク

● 使用条件

使用電動工具の条件は、

1.回転速度1500min⁻¹以下

2.クラッチ付き電動工具をお薦めします。

※ロータリーハンマードリルをご使用の場合は、
回転モードへの切り替え機能付きの電動工具を
使用してください。

※刃先径85～220mmでは、1000W以上のダイヤモ
ンドコアドリルの使用をお薦めします。

《電動工具の適正回転速度／消費電力の目安》

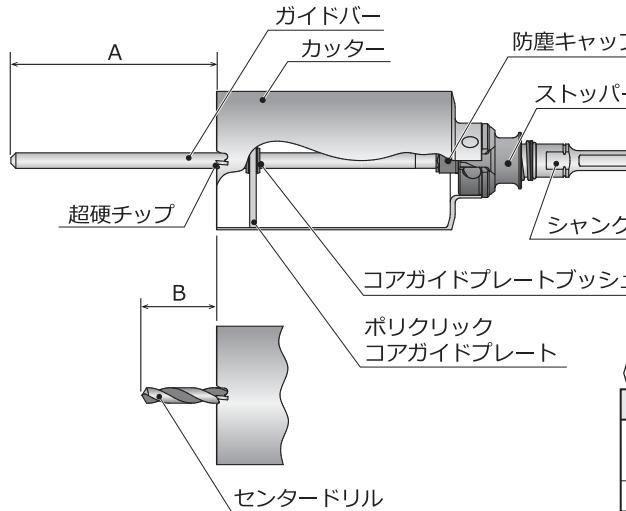
刃先径 (mm)	回転速度 (min ⁻¹)	消費電力
25～45	1500～800	550W以上
50～80	1100～700	650W以上
85～220	1100～750	750W以上

注意：上記は弊社標準条件においての目安です。
穴あけ対象物の材質や固定方法などにより
異なります。



回転モード以外で使用しないでください。

構成図



※コアガイドプレートブッシュの消耗時は、新品に交換してください。
(品番 : PCGPB)

《A・B寸法表》

	Sシャンク	Lシャンク	
A	ガイドバー-320 ガイドバー-250	145mm 75mm	136mm 66mm
B	センタードリル	45mm	36mm

使用方法

● 使用方法

- ①「使用条件」の欄を参考にし、刃先径に適した電動工具を使用してください。
- ②シャンクを取り付けてください。
※シャンクの取り付け方は、ご使用になる電動工具の取扱説明書をご覧ください。
- ③カッターを取り付けていない状態で右項の「センタードリルの着脱方法」をご覧になり、センタードリルをシャンクに取り付けてください。
- ④穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動工具を回転させセンタードリル穴をあけてください。
穴あけ中心位置にポンチなどでポンチングしておくことをお薦めします。
 - ・センタードリル貫通後にカッターが被削材に急激に当たるのを防ぐために、先にセンタードリル穴だけをあけてください。
 - ・ハイスセンタードリルを組み込んだ状態で使用すると、センタードリル穴が大きくなりカッターへの食いつきが悪くなる場合があります。先にセンタードリル穴をあけた後、ガイドバーに交換し、穴あけを行ってください。詳しくは、別紙「金属サイディングへの穴あけ」をご覧ください。
- ⑤カッターのシャンクへの取り付けは右項の「カッターの取り付け方法」を参考にして取り付けてください。
- ⑥コアガイドプレートを刃先より少し内側に取り付けてください。
- ⑦カッターが被削材に接した後、切削が安定するまでゆっくりと切り込んでください。
※なるべくクラッチが作動しないよう、押し込みすぎにはご注意ください。
- ⑧穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。
- ⑨切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。

● 防塵キャップ

- ・ポリクリックシャンク(S・L・Xシャンク)には、センタードリルやガイドバー挿入口へ切粉が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。(下図)
- ・防塵キャップを装着したままで、センタードリル・ガイドバーの着脱が可能です。

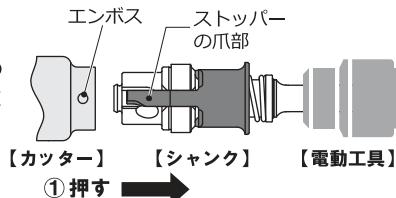
※単品での販売も行っています。

Sシャンク用 : 品番 PCBCS
L・Xシャンク用 : 品番 PCBCL

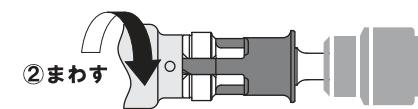


● カッター取り付け方法

- 1 電動工具にシャンクを取り付けてください。
- 2 カッターのエンボス(丸型凸部)をシャンクのストッパーの爪部に合わせ、そのままカッターをシャンク側(矢印①)に押します。
注 カッターとシャンクに付着している切り粉やごみ等の異物は取り除いてください。



- 3 カッターをシャンク端面まで押し込んだ状態で、カッターを刃先側から見て右方向(矢印②)に回してください。



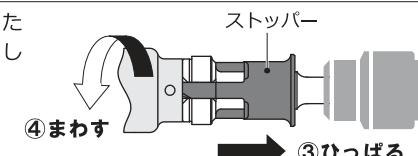
- 4 カチッと音がして、カッターがシャンクに固定されます。
最後にカッターを引っ張って、しっかりと固定されたことを確認してください。

注 指を挟まれケガをするおそれがありますので、ストッパーの付近に手を添えないでください。



● カッター取り外し方法

- 1 シャンクのストッパーを電動工具側(矢印③)に引っ張った状態で、カッターを刃先側から見て左方向(矢印④)に回してください。



- 2 ストップバーを引っ張っている力を少しずつ緩めてください。
カッターがストッパーによって押し出され、取り外せます。

注 ストップバーから手を離すとカッターが飛び出すので注意してください。高所作業時は落下のおそれがあるので、特に注意してください。



● センタードリルの着脱方法(ガイドバーも同様の方法で着脱できます)

- 1 センタードリルをシャンクに挿入してください。(防塵キャップを装着したままで挿入可能)
- 2 センタードリルを回転させながら押し込むと、シャンク内の突起とセンタードリルのL型溝の位置が合いセンタードリルはさらにシャンクの奥まで入ります。
- 3 センタードリルを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先側から見て右方向(矢印③)に90度回転させて、センタードリルを固定してください。
- 4 取り付け後、センタードリルを引っ張っても抜けない事を確認してください。

注 センタードリルのシャンク挿入部にグリスを塗布してください。
センタードリルのL型溝の変形が軽減されます。

- 5 取り外す時は、センタードリルを軽く押し込みながら、刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取ります。(センタードリルは押し込みすぎると回転しません)

